【参考資料２】

新潟市障がい福祉課
平成 25 年 7 月 18 日
第 2 回条例検討会資料

障がいを理由として生きづらさ・差別等の募集事例（医療分野）

事例１

事例	入院している時に、ストレッチャーのようなベットで、寝心地が良くなかった。ベットの改善をしてくれなかった等、色々な不快感を感じる対応が多々あった。（現在でも入院時の良くない思いが残っている）		
改善提案	―		
属性	発達障がい／46 歳／女性／東区	事例応募者	本人

事例２

事例	内科や眼科を受診した時、何かあるときのためなのか、「一緒に診察室に入ってくれ」と言われたことが悔しかった。子供じゃないんだ。		
改善提案	差別等、偏見の目で対応するのは、一般の人ではなく、行政・医療関係者が多いと思う。（関わってもらう事が多いかもしれない）		
属性	視覚／74 歳／男性／南区	事例応募者	ヘルパー

事例３

事例	手術・入院のため、病院を利用しましたが、〇〇番で採血、〇〇番で診察と言葉だけでの指示でした。保護者が付き添っていたので、何事もありませんでしたが、こういう時、障がい者一人であったら困りました。		
改善提案	大きな病院であれば、サポーターが入ればと思います。また、ガイドヘルパーさんと病院を受診する時など、その方面の知識がある方だとよいと思いました。医師などと本人との間の通訳的約区割りもしていただければと思います。		
属性	知的／21 歳／男性／東区	事例応募者	障がい者の家族

事例４

事例	「当医院（内科・歯科・整形外科）では対応できないから他へ行ってください」と言われた。		
改善提案	―		
属性	精神	事例応募者	障がい者の家族

事例５

事例	統合失調症を持つ患者さんが、〇〇病院の外来を受診しようとしたが、「統合失調症の方は、受診不可」と言われ診療を拒否された。窓口の相談員から詳しい説明やフォローは何も無かった。		
改善提案	診療拒否しないで欲しい。何か理由があるのであれば、きちんと説明をして欲しい。		
属性	精神／39 歳／男性／東区	事例応募者	障がい者の支援者

事例６

事例	精神病院に入院中の 82 歳の男性が、右そけい部ヘルニアのため、Ａ病院を受診したが、〇〇外科医師から「精神科の患者は、手術できないので、精神科のあるＢ病院若しくはＣ病院に行ってくれ」と言われた。精神症状は落ち着いているが、一切考慮してもらえなかった。仕方なく大学病院を受診することにして、〇〇医師に照会状の作成を依頼したところ、「照会状が必要な訳がない」と怒り出し、最終的には書いてもらえることになったが、「照会状は書くが、診てもらえるかどうか、わからない」と言われた。		
改善提案	「精神科の患者だから、手術はできない」と、ろくに診察もしないで判断しないで欲しい。病院スタッフの声も聞いて欲しい。		
属性	精神／82 歳／男性／東区	事例応募者	障がい者の支援者

事例７

事例	医療関係で、障がいがある事で手術を断られた。		
改善提案	―		
属性	音声・言語・そしゃく、知的／43 歳／女性／東区	事例応募者	―

事例８

事例	作業所の職員と病院に行ったら、看護師さん同士でこそこそ話をしていた。		
改善提案	―		
属性	知的／女性／23 歳／江南区	事例応募者	本人

事例９

事例	会社に通勤していた頃、「精神科で受診したのはまずいから、他の科にするか、自費でしてくれ」と言われた。		
改善提案	―		
属性	精神／40 歳／女性／中央区	事例応募者	本人

事例１０

事例	医療体制について、障がい者に対する対応の仕方		
改善提案	―		
属性	知的／29 歳／男性／西区	事例応募者	―

事例１１

事例	体調が悪くても、入院が難しく、他の病院に回されてしまう事は、非常に親からしては、悲しい事です。障がい者でも快く受け入れてくれる病院がもっと多くなってほしいと思います。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由、内部機能、知的／24 歳／男性／西区	事例応募者	―

事例１２

事例	20 代の頃、ある病気にかかり診察・治療を受ける際、「うつ病」で精神科にも通院しており本当に痛みがあったのに信じてもらえず、十二指腸かいようの薬を処方されました。（痛みは胃や腸ではなく、耳鼻科的なもの三しゃ神経痛）その時に医師から笑われたりかけられた言葉は、信じられないほど自分自身を傷つけました。本当に痛みがあるとわかってもらえるまでの数日間は、眠れない程の痛みで苦しみました。職場でよく「心が弱いから」と言われ、病気のことを話してもあまり理解してもらえないのだと思いました。		
改善提案	―		
属性	精神／43 歳／女性／中央区	事例応募者	本人

事例１３

事例	重度の障がいであるという理由で、医療機関から受診を拒否されたこと		
改善提案	―		
属性	肢体不自由、知的／33 歳／女性／江南区	事例応募者	―

事例１４

事例	病院で具合が悪くなった時、看護師がすぐに処置をしてくれなかった。		
改善提案	―		
属性	内部機能／54 歳／女性／中央区	事例応募者	本人

事例１５

事例	入院などすると、２、３人いじめがあります（看護師さんや同部屋など）		
改善提案	―		
属性	精神／61 歳／女性／東区	事例応募者	本人

事例１６

事例	医療…いろいろな検査をうけさせられる。		
改善提案	―		
属性	精神／62 歳／男性／東区	事例応募者	―

事例１７

事例	知的があるため、医師にバカ呼ばわりされたこと。		
改善提案	―		
属性	知的／33 歳／男性／中央区	事例応募者	―

事例１８

事例	ある医療機関を受診した際、「なんで、診察の難しい子供をうちへ連れてきたのですか」と言われた事。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／6 歳／男／中央区	事例応募者	―

事例１９

事例	医者（遠慮してもらいたい）		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／8 歳／男／東区	事例応募者	―

事例２０

事例	人間ドックに行ったとき、医師に「5 年・10 年先を健康に生きるためのドックであって、〇〇病の人は受けても意味がない」と言われた。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／59 歳／男性／西区	事例応募者	―

事例２１

事例	怪我をしたため、病院へ行ったが「話にならない」と言われ、親を呼んで診てもらうことになった。心療内科の主治医も呼ぶぞとも言われた。（問診表の今かかっている病気の欄に「統合失調症」と書いたことが原因）		
改善提案	―		
属性	精神／38 歳／男性／北区	事例応募者	本人

事例２２

事例	医療で十分な時間でみてもらえない。		
改善提案	―		
属性	精神／52 歳／女性／中央区	事例応募者	本人

事例２３

事例	病院などで難聴を伝えても、医者、看護師などの話し声が小さい。		
改善提案	―		
属性	聴覚・平衡機能／男性／72 歳／東区	事例応募者	本人